令和７年度 沼津市立 第二中 第二小 千本小 学校グランドデザイン

国・県・市の方針

◎「生きる力」の育成
◎社会に開かれた教育課程
◎県「有徳の人」づくり
◎市「貴き志を持つ人」づくり
◎小中一貫教育の推進
◎N-ＧＩＧＡスクール構想の推進
◎コミュニティ･スクールの推進　　◎学校規模の適正化

第二中校区小中一貫教育目標

支え合う聴き合う姿勢

子ども･保護者･教師の願い

《子ども》楽しい学校、勉強がわかる、授業で発表できる
《保護者》あいさつ、生活習慣、勉強がわかる
《教職員》自己肯定感を高める 主体性、粘り強さ、競争心、信頼性のある学校づくり

学校教育目標

あたたかく強くしなやかに

P計画

目指す子ども像

認め合える子	ねばり強く考える子	耐性があり、自ら行動する子

支持的風土の醸成（安心・承認・自立）

重 点 目 標

自分のよさ友達のよさがわかる子

D実践

特別活動・生徒指導部

＜1－2 (1, 2･3, 4)　2－3 (3, 4)＞

【３校共通：あいさつ・黙働清掃・2分前行動】

あいさつからつながる人間関係作り（あいさつ運動・語先後礼・授業前後等）

認め合いの場の設定
（学級会・帰りの会・行事・ふれあい活動・ペア読書・職員打ち合わせ）

前向きな児童理解
（日々の記録・終礼での情報交換・研修会）

ボランティア活動（回収）

黙働清掃で育む奉仕の心・感謝の心

３小学校の交流活動

自分のつながりのある人にあいさつする子　90%

学習指導・研修部

＜1－1 (1, 2)　1－2 (1, 2)＞

【３校共通：学びに向かう姿勢・聴き方話し方】

★三校共通道徳教育重点項目【A:善悪の判断・自律・自由と責任　B:相互理解･寛容】

基礎基本の定着と確かな学力の育成
（家庭学習のきまり周知･徹底）
（切実感のある学習課題の設定→見通し&振り返り）

相手を意識した聴き方・話し方・表し方

授業での効果的な交流場面の充実

家庭との連携（パンフレットで啓宣）

ＩＣＴを活用した主体的な学び

読書の充実（朝読書　隙間読書　読み聞かせ）

地域の力を生かした授業
（小小合同授業･校外学習・ゲストティーチャー）

GIGAスクール構想(N-GIGA)の推進

進んで自分の考えを発表したり、友達と話し合ったりする子　90%

健康指導部

＜1－3 (1, 2). 1－2 (3)＞

【３校共通：メディアコントロールの推奨】

運動する習慣の確立
（運動週間（新体力・縄跳び・持久走）の設定）
（遊びの要素を取り入れた取組の企画運営）

望ましい生活習慣への理解
（メディアコントロールデーへの取組）

保健行事や委員会による自己肯定感の向上
・学校保健委員会（リフレーミング・ピアサポート）

「食」への感謝の気持ちを育む
（給食記念週間・食育授業ＴＴ）

C評価

進んで外遊びや運動をする子　85%
早寝･早起き･朝ごはんを心がけている子　90%
給食を好き嫌いなく食べる子　85%

★人権教育・特別支援教育の推進　自他を尊重する心の育成　＜1－2 (3). 2－2 (3)＞

ことばの教室
構音障害・吃音・言語発達遅滞の個別支援　在籍学級との連携
＜2－2 (3)＞　通級してよかったと感じる　100%(児童)

学校経営方針

＜　＞内は沼津市教育基本構想の関連する＜章-節（項）＞

A向上

1　全教職員で全ての子どもを育てる意識をもち、少人数・小規模校の良さを生かした教育活動を追究する。
2　子どもが安心でき、承認し合う中で、自分に自信がもてる支持的風土を醸成する。
3　分かる・できる楽しさを味わわせるとともに学び方を身につけさせ、学ぶ楽しさから学校の楽しさにつなげる。
4　第二校区の小小・小中の連携とコミュニティ･スクールによる地域との連携により、子どもの成長につながる教育活動を推進する。
5　危機管理意識を高くもち、子どもにとって安全・安心な学校を維持する。
6　第一小・千本小との連携・交流により、統合への意欲や期待を高める。
7　地区推進委員会との連携・学校統合準備委員会の計画的な推進を行う。